



遠 2378 213

新本南

文政十四年辛卯孟春發市

鶴屋南北作

芝神明前三嶋町

# 小町紅牡丹隈取上

歌川國貞画

和泉屋市兵衛梓

壹

本舞臺三間の間々々序文亦あはれ劇場の正本  
 役者を見えて仕組の狂言不用の文古はる取集め住あ  
 らんる留亀戸の壁は崩さる風ふき刷毛布帖とや  
 やまき。既子張んまき留如五の橋の方よりもまき  
 のけく。當時似ぬの画師一人五度厚ごろう國貞が友と  
 所らぬもはしるを種々々抄好らるるまきあげまき  
 筆取らるる三升の紋其外は五者の画のを見んを進  
 上と需み衣して師走の月壽命目出度年のね年。厄  
 拂ひのまき守麻言は述る

文政十四年辛卯孟春

在郷最中安葉出来秋





見立

あゝ小町

おのれく平

何れか

と

うき

叫

あゝ

うき

おのれく平

と

あゝ



見立

あゝ小町

おのれく平

何れか

と

うき

叫

と



小町

見立  
通小町

あつはあつの鴨のさかひ、あつはあつの母  
あつはあつのたぬきあつはあつ



あつはあつのたぬきあつはあつ



見立  
幸都  
小町

あつはあつのたぬきあつはあつ  
あつはあつのたぬきあつはあつ  
あつはあつ  
あつはあつ  
あつはあつ  
あつはあつ



頂上松葉  
おららのお  
おららの  
おららの  
おららの  
おららの

井筒  
おららの  
おららの  
おららの  
おららの  
おららの

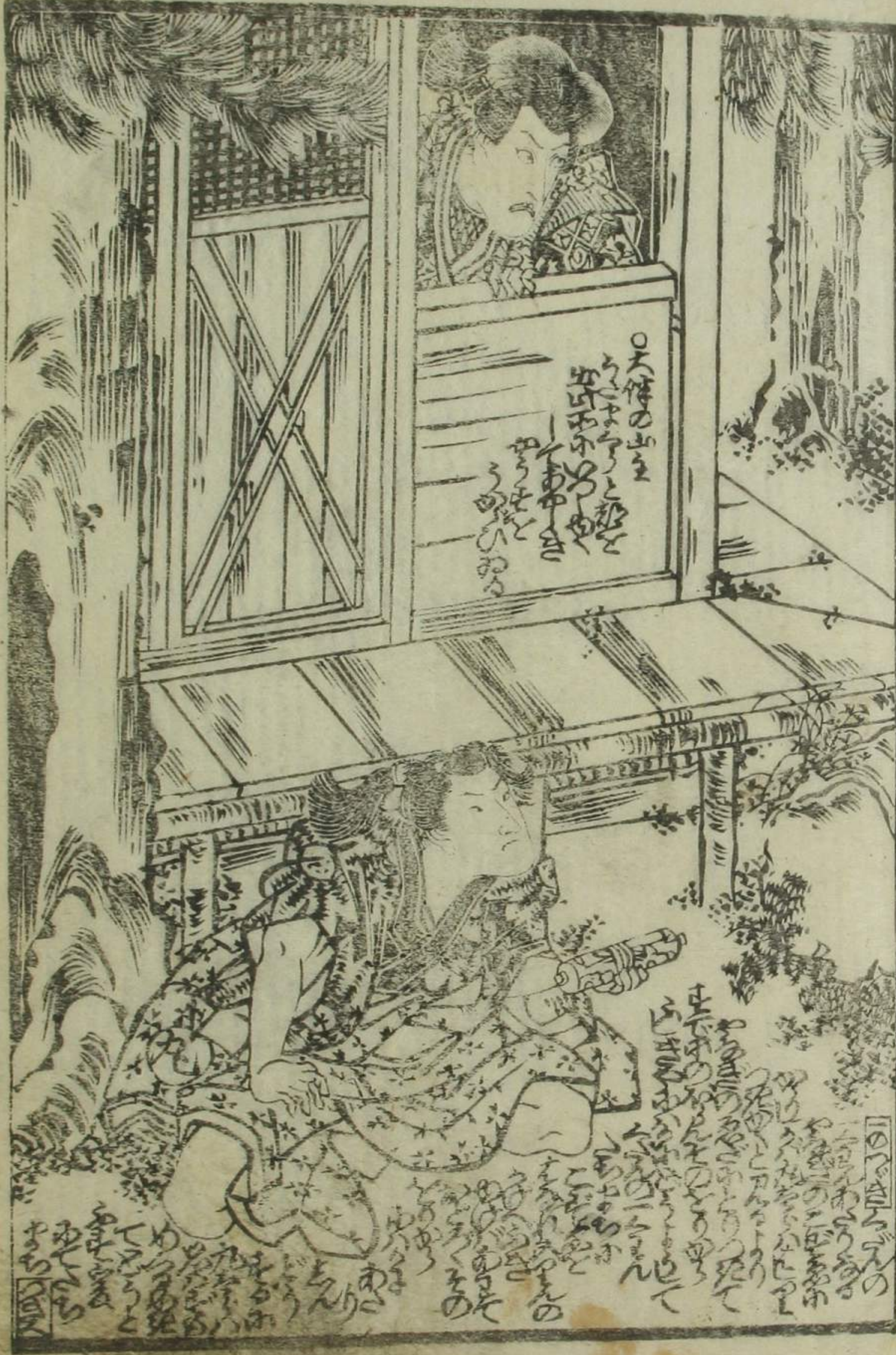
おららの  
おららの  
おららの  
おららの  
おららの  
おららの  
おららの  
おららの  
おららの  
おららの



見  
雨乞小町

おららの  
おららの  
おららの  
おららの  
おららの

おららの  
おららの  
おららの  
おららの  
おららの









中世の世は...  
 中世の世は...  
 中世の世は...  
 中世の世は...



中世

中世の世は...  
 中世の世は...  
 中世の世は...  
 中世の世は...



中世



Vertical Japanese text columns are interspersed throughout the illustration. On the left side, there are several columns of text. At the top, there is a line of text: 春の風を待つ女 (A woman waiting for the spring wind). Other text is scattered around the figures and the garden.

春の風

春の風



Vertical Japanese text columns are interspersed throughout the illustration. At the top, there is a line of text: 春の風を待つ女 (A woman waiting for the spring wind). Other text is scattered around the figures and the garden.

春の風

春の風

春の風

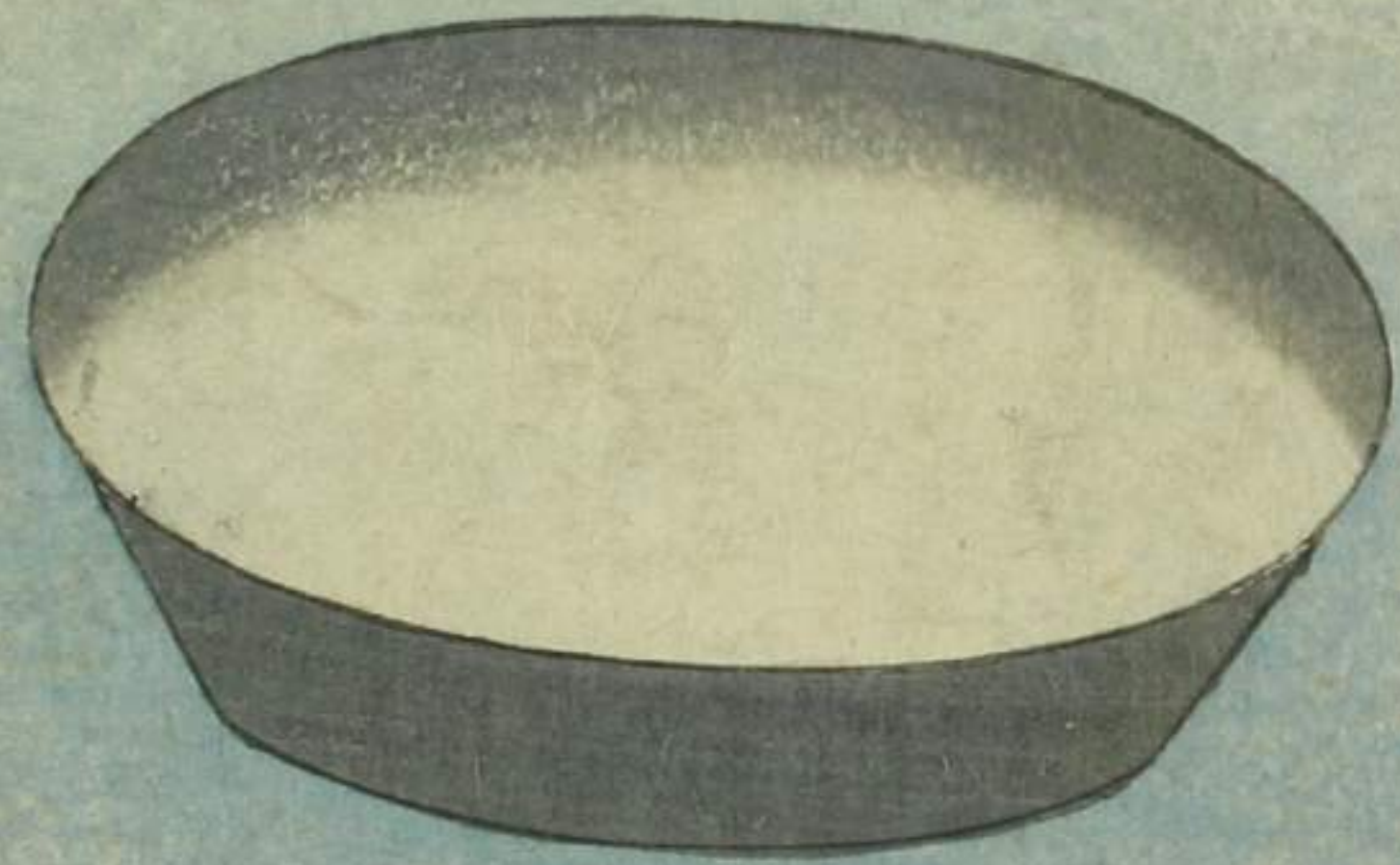


清淨  
精製 白妙

一 包 代 三 十 二 兩

此の  
らど能  
あつろの  
光澤  
なや  
石別  
あつろの  
光澤  
なや  
石別

本家調合所  
尾中橋廣小島所  
北林堂西宮弥三清



藤

辛卯新春彫

小南作业

小町 國貞画

芝神明前 紅

其泉堂版 取隈丹牡丹

中原卷

三



Vertical columns of handwritten text in the upper left section of the page.



Small handwritten text at the bottom left of the page.











# 國貞畫南北作

此は浄書の仙橋に  
 依りて南作の國貞  
 が筆を揮ふ所を  
 繪し置けるなり  
 其の筆は如神に  
 似たりて其の氣  
 神なるを觀する  
 者ハ其の筆を  
 觀して其の神氣  
 を感ずるなり  
 此の仙橋は浄書  
 の仙橋に依りて  
 南作の國貞が  
 筆を揮ふ所を  
 繪し置けるなり



浄書  
仙橋

此の仙橋は浄書  
 の仙橋に依りて  
 南作の國貞が  
 筆を揮ふ所を  
 繪し置けるなり

此の仙橋は浄書  
 の仙橋に依りて  
 南作の國貞が  
 筆を揮ふ所を  
 繪し置けるなり



此の仙橋は浄書  
 の仙橋に依りて  
 南作の國貞が  
 筆を揮ふ所を  
 繪し置けるなり



Handwritten text in a cursive script, likely a form of shorthand or a specific dialect, covering the top and right portions of the page.



Handwritten text in a cursive script, covering the top and right portions of the page.



Handwritten text in a cursive script, likely a form of Chinese or Japanese, filling the upper and lower portions of the page. The text is arranged in vertical columns, with some lines crossing the gutter between pages.



Handwritten text in a cursive script, continuing from the left page. It is organized into vertical columns, with some text overlapping the illustration of the figures.





國貞画南北作



江戸流行料理通

八百善主人著  
初編三編テ三冊

料理早指南

初編四編  
迄共四冊

日本名所繪

鐵形蕙森筆  
唐紙一枚摺

比翼紋意氣地競

國貞画  
全三冊

插花早指南

初編一冊  
二編一冊

鏡山故郷錦繪

全三冊

劇場一觀頭微鏡

國貞画  
二冊

傳金應丹

調合有玉堂製  
一服代二夜半服代一夜

本

書物芝神明前  
地本甘泉堂  
問屋和泉屋市兵衛

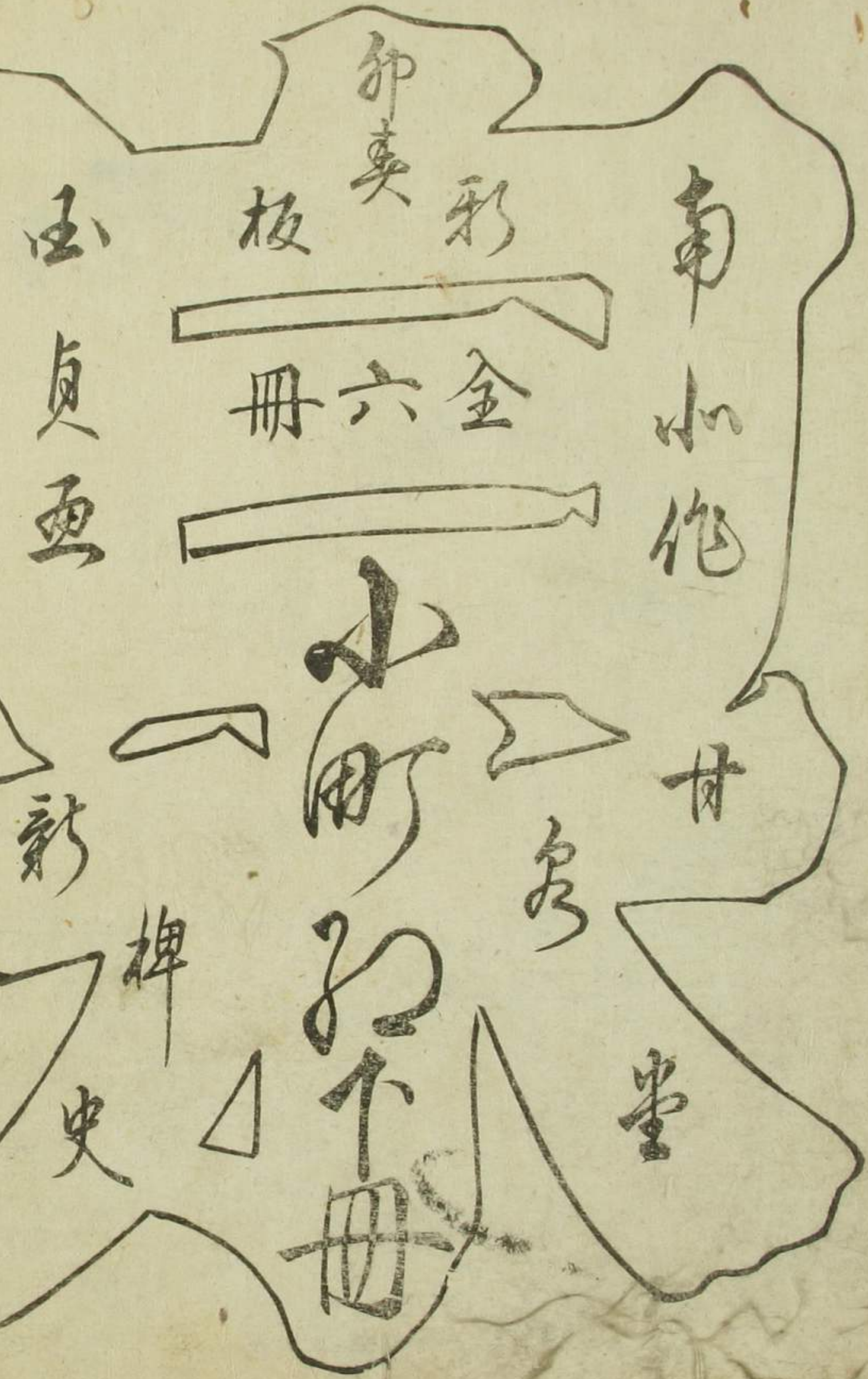
和泉屋市兵衛





眞國画

甘泉堂製本





あはれを  
まはしりて  
あはれを  
まはしりて  
あはれを  
まはしりて

津海  
坂山

あはれを  
まはしりて  
あはれを  
まはしりて  
あはれを  
まはしりて

あはれを  
まはしりて  
あはれを  
まはしりて  
あはれを  
まはしりて

あはれを  
まはしりて  
あはれを  
まはしりて  
あはれを  
まはしりて

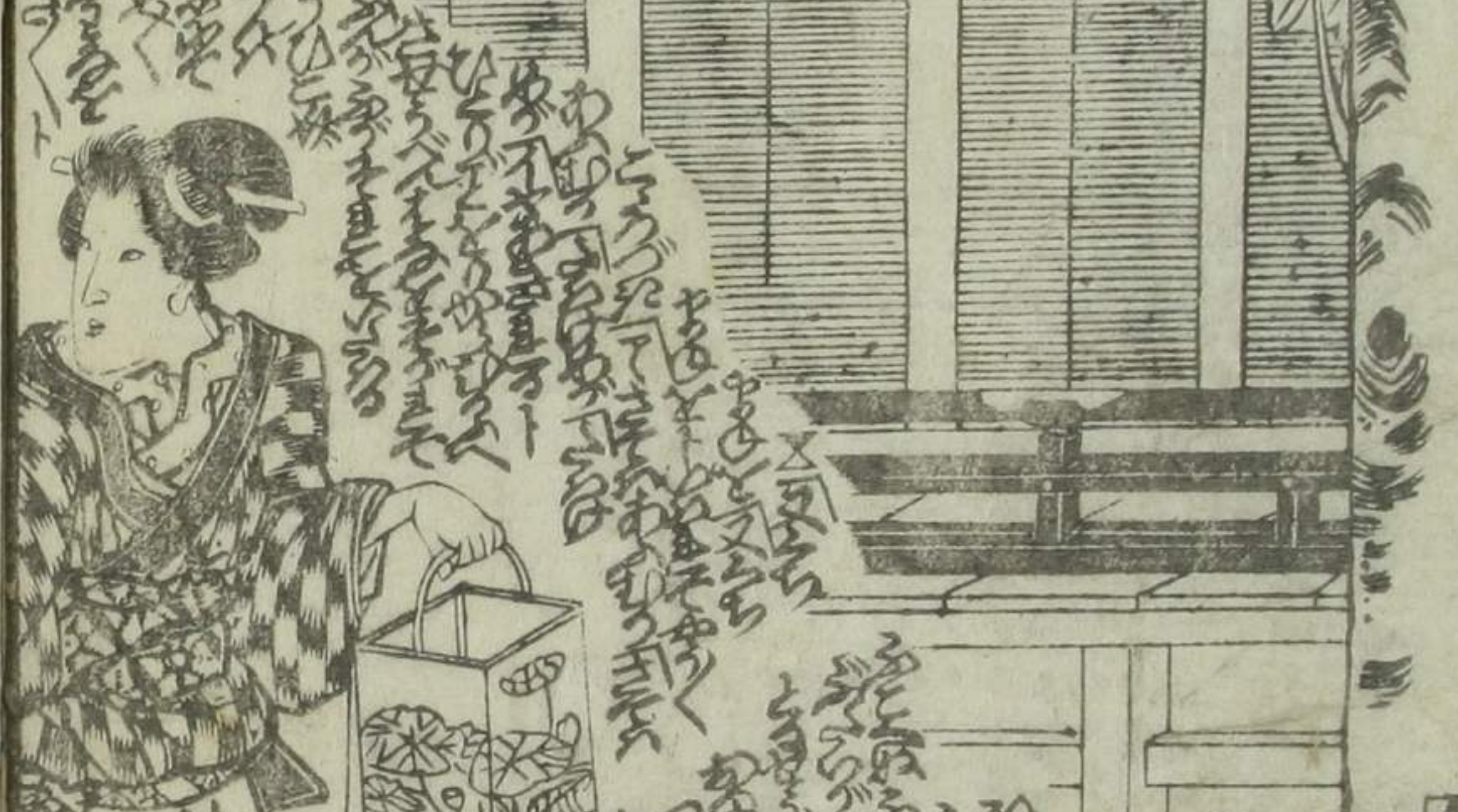
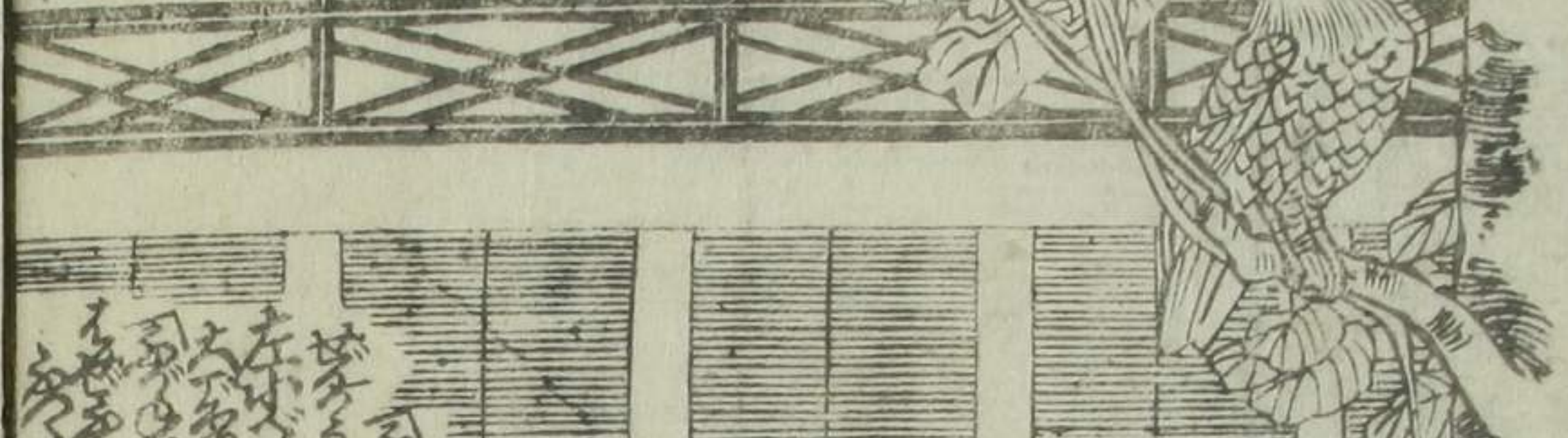
あはれを  
まはしりて  
あはれを  
まはしりて  
あはれを  
まはしりて

あはれを  
まはしりて  
あはれを  
まはしりて  
あはれを  
まはしりて

あはれを  
まはしりて  
あはれを  
まはしりて  
あはれを  
まはしりて



鳥の鳴き声  
はるかなる  
春の空  
を渡る  
雲の影  
を照らす  
夕陽の光  
を浴びて  
花の香  
を吸って  
心は安らぐ  
静かなる  
夜の静けさ  
を愛する  
月夜の光  
を眺めて  
星の輝き  
を愛する  
静かなる  
夜の静けさ  
を愛する



静かなる  
夜の静けさ  
を愛する  
月夜の光  
を眺めて  
星の輝き  
を愛する  
静かなる  
夜の静けさ  
を愛する  
月夜の光  
を眺めて  
星の輝き  
を愛する  
静かなる  
夜の静けさ  
を愛する  
月夜の光  
を眺めて  
星の輝き  
を愛する

静かなる  
夜の静けさ  
を愛する  
月夜の光  
を眺めて  
星の輝き  
を愛する  
静かなる  
夜の静けさ  
を愛する  
月夜の光  
を眺めて  
星の輝き  
を愛する



静かなる  
夜の静けさ  
を愛する  
月夜の光  
を眺めて  
星の輝き  
を愛する  
静かなる  
夜の静けさ  
を愛する  
月夜の光  
を眺めて  
星の輝き  
を愛する

Handwritten text in vertical columns, likely a narrative or commentary, surrounding the illustration of the woman by the well.



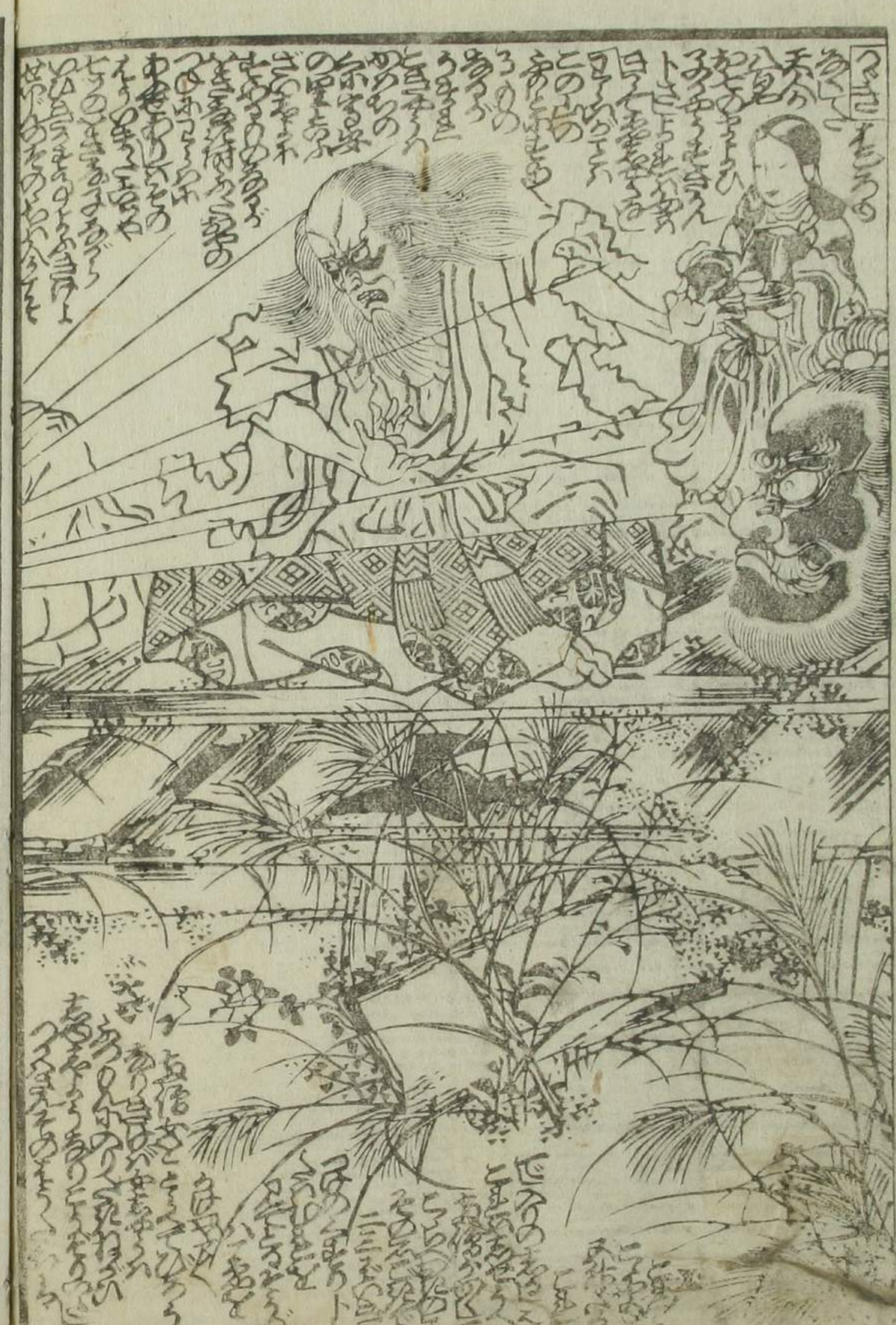
Handwritten text in vertical columns, continuing the narrative or commentary, surrounding the illustration of the woman sitting in a room.



田中

十四





二四八

二五





Vertical columns of Japanese text on the left side of the illustration, likely a narrative or dialogue.

Vertical columns of Japanese text at the bottom of the illustration, including the character '井' (well) on the kimono.



花

井

Vertical columns of Japanese text at the bottom of the illustration, including the character '花' (flower) on the right side.

山田八郎の物語の序
山田八郎の物語の序
山田八郎の物語の序
山田八郎の物語の序
山田八郎の物語の序

山田八郎の物語の序
山田八郎の物語の序
山田八郎の物語の序
山田八郎の物語の序
山田八郎の物語の序



山田八郎の物語の序
山田八郎の物語の序
山田八郎の物語の序
山田八郎の物語の序
山田八郎の物語の序



雨の  
 降る  
 中  
 に  
 は  
 花  
 冠  
 を  
 戴  
 き  
 扇  
 を  
 抱  
 き  
 傘  
 を  
 持  
 つ  
 女  
 の  
 姿  
 也  
 此  
 の  
 女  
 は  
 雨  
 乞  
 の  
 女  
 也  
 此  
 の  
 女  
 は  
 雨  
 乞  
 の  
 女  
 也  
 此  
 の  
 女  
 は  
 雨  
 乞  
 の  
 女  
 也  
 此  
 の  
 女  
 は  
 雨  
 乞  
 の  
 女  
 也



雨  
 の  
 降  
 る  
 中  
 に  
 は  
 刀  
 を  
 抱  
 き  
 冠  
 を  
 戴  
 き  
 立  
 姿  
 也  
 此  
 の  
 男  
 は  
 雨  
 乞  
 の  
 男  
 也  
 此  
 の  
 男  
 は  
 雨  
 乞  
 の  
 男  
 也  
 此  
 の  
 男  
 は  
 雨  
 乞  
 の  
 男  
 也  
 此  
 の  
 男  
 は  
 雨  
 乞  
 の  
 男  
 也

雨乞の女

十九

香蝶樓國貞画〇〇鶴屋南北作



金毘羅船第八編 全八冊 曲亭馬琴作

新編金瓶梅初編 全八冊 曲亭馬琴作

小町紅牡丹猥取 全冊 鶴屋南北作

歌妓小春妖狐天網島 前編立川烏馬貞画

新語咿西行櫻 全冊 柳亭種彦作

大和仮名懸想文賣 五東里作 繪本武智袋 四一九作

美艶仙文香 吳文通作 本地本問屋 江戸芝神明前 和泉屋市兵衛

黒油美玄香 吳文通作

